

久留米工業高等専門学校	開講年度	平成31年度(2019年度)	授業科目	リベラルアーツ特論2(コミュニケーション学入門)
-------------	------	----------------	------	--------------------------

科目基礎情報

科目番号	4S22	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	制御情報工学科	対象学年	4
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	メディア・レトリック論 文化・政治・コミュニケーション(ナカニシヤ出版)		
担当教員	横溝 彰彦		

到達目標

- コミュニケーション学の理論を理解し、自分自身のコミュニケーションを改善できる。
- 自分と社会とのつながりを理解できる。
- 自分でまとめた内容を発表し、他の受講者と議論することができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
自分のコミュニケーションの特性	自分のコミュニケーションを改善する。	自分のコミュニケーションの特性に気付くことができる。	コミュニケーション学の理論を理解できない。
社会とのつながり	自分が社会に与えることができる影響を理解できる。	自分が社会から受けている影響を理解できる。	自分と社会とのつながりを理解できない。
議論	自分の考えをまとめ、発表し、他の受講者と議論することができる。	自分の考えをまとめ、発表することができる。	自分の考えをまとめ、発表することができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	前半の授業では、日々のコミュニケーションに関する理論を学び、自分自身のコミュニケーションを振り返る機会を設ける。 後半の授業では、自分自身と社会との関わり合いを学び、個人が社会に影響を与える存在であることを学ぶ。
授業の進め方・方法	前半の授業では、コミュニケーション学の理論に関する講義を受け、ディスカッションを行い、授業の最後に理解度を測る小テストを受ける。 後半の授業では、各人が教科書のテーマから好きなものを選択してその内容を教授するプレゼンテーションを行い、レポートにまとめる。
注意点	(1) 点数配分: 中間試験25%、小テスト25%、レポート50% (2) 評価基準: 60点以上を合格とする。 (3) 再試験: 再試験は行わない。

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	1週	ガイダンス	授業の進め方や課題について理解する。
	2週	言語コミュニケーション	言語を用いたコミュニケーションの性質を学び、自分の考えをより効果的に相手に伝える方法を学ぶ。
	3週	非言語コミュニケーション、対立への対処	言語を用いないコミュニケーションの性質や対立時の対処を学ぶ。
	4週	グループでの役割、リーダーシップ	グループでの役割やリーダーシップについて学び、自分が得手不得手な分野を知り、集団内での自分の立ちまわり方について考える。
	5週	男女のコミュニケーション、男女の友情	男女のコミュニケーションや友情の違いについて学び、自分と異性とのコミュニケーションについて考える。
	6週	アイデンティティ	アイデンティティの種類や性質について学び、自分のアイデンティティについて考える。
	7週	自民族中心主義、ステレオタイプ、偏見、差別	他者へのネガティブな考え方や行動の原理について学び、対処を考える。
	8週	中間試験	これまでの授業で学んだことの理解度を測る。
4thQ	9週	発表 1	自分でまとめた内容を発表し、他の受講者とディスカッションを行う。
	10週	発表 2	自分でまとめた内容を発表し、他の受講者とディスカッションを行う。
	11週	発表 3	自分でまとめた内容を発表し、他の受講者とディスカッションを行う。
	12週	発表 4	自分でまとめた内容を発表し、他の受講者とディスカッションを行う。
	13週	発表 5	自分でまとめた内容を発表し、他の受講者とディスカッションを行う。
	14週	発表 6	自分でまとめた内容を発表し、他の受講者とディスカッションを行う。
	15週	Review	これまでの授業で学んだことをまとめること。
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	中間試験	小テスト	レポート			合計
総合評価割合	25	25	50	0	0	100

基礎的能力	25	25	50	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0